２０２６年１１月２５日
損害保険ジャパン株式会社

地域医療の維持・向上に係る包括連携協定を締結
～ＳＯＭＰＯグループ３社と京都府保険医協会による協業開始～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）と、ＳＯＭＰＯケア株式会社（代表取締役社長：鷲見 隆充、以下「ＳＯＭＰＯケア」）、ＳＯＭＰＯケアソリューションズ株式会社（代表取締役社長：薄 一臣、以下「ＳＯＭＰＯケアソリューションズ」）、京都府保険医協会（理事長：内田 亮彦）は、京都府における地域医療の維持・向上に寄与することを目的として、２０２６年１１月２５日に包括連携協定を締結したことをお知らせします。

１．背景・経緯

超高齢社会の進展に伴い医療・介護ニーズが増大する一方、生産年齢人口の減少による医療機関や介護施設の人材不足が顕在化し、持続可能な運営体制の構築が喫緊の課題となっています。特に京都府においては、京都市周辺への医療資源の集中や北部・中部地域における医師不足といった「地域偏在」に加え、在宅医療需要の増大が医療現場の大きな負担となっています。

ＳＯＭＰＯグループは、“安心・安全・健康”であふれる未来の実現に向け、ヘルスケア領域におけるリアルとデジタルの融合を通じた社会課題の解決を進めています。

このような状況のもと、地域の医療現場を支える京都府保険医協会と、介護事業の運営ノウハウやリスクマネジメントの知見を有するＳＯＭＰＯグループ３社が、相互の強みを融合させ京都府の地域医療の維持・向上に貢献すべく、このたびの包括連携協定締結に至りました。

２．協定の目的

ＳＯＭＰＯグループ３社と京都府保険医協会は、それぞれが緊密に連携し、地域医療を取り巻く諸課題の解決と持続可能な医療提供体制の構築を推進することを目的としています。

３．協定の主な内容

（１）医療・関連機関等との新たな協業モデルの創出に関すること
（２）医療機関および介護施設等の持続可能な経営支援に関すること
（３）医療・介護人材の確保・育成および働き方改革に関すること
（４）医療機関等における患者の療養環境の向上に関すること
（５）デジタル技術の活用による医療・介護現場の業務効率化に関すること
（６）高齢者等の包括的なライフプラン支援および地域共生社会の実現に関すること
（７）医療と介護の連携による地域医療提供体制の発展に関すること
（８）その他、地域住民の健康増進等、本協定の目的達成に必要な事項に関すること

４．今後について

ＳＯＭＰＯグループと京都府保険医協会は、相互に有する経営支援ソリューションを通じて、医療機関が質の高い医療を継続的に提供できる基盤づくりを後押しします。この取組みを皮切りに、協定に基づく連携を多角的に推進し、京都府民の誰もが、住み慣れた地域で安心して医療・介護サービスを受けられる、持続可能な地域共生社会の実現を目指していきます。

【締結式の様子】



以上